

☆☆☆ 我が校にも文化的資産が ☆☆☆

皆さんは古くなった本をどうしていますか？ 思い出としていつまでも本棚に残しますか？ 古本として処分しますか？ 確かに全ての本を保管しておくことは無理があります。しかし、全ての本は何らかの目的で記述された貴重な文化的資産です。国立国会図書館では昭和23年から納本制度を開始し、「現在と未来の読者のために、国民共有の文化的資産として永く保存され、日本国民の知的活動の記録として後世に継承されます。」と謳われています。納本制度が始まる前の貴重な本も、公共図書館や大学図書館に所蔵されています。本年度、本校の図書館では、専攻科生ボランティアの力を借りて本校に所蔵の戦前の本を調べています。国会図書館にもない本も多数確認できました。とかく情報が垂れ流しになる時代ですが、本はその時代の情報のタイムカプセルでもあります。機会があればこれらの古い資料の公開ができればと考えていますので、楽しみにしておいてください。

☆☆☆ 学科からの推薦図書紹介(推薦図書コーナーにあります) ☆☆☆

商船学科

書籍名: **海洋法と船舶の通航(増補2訂版)(成山堂)**

紹介文: 国連海洋法条約の理念から、成立過程、海洋の分類についてわかりやすく解説されているとともに、海賊、環境、船舶の通航など海運に関する重要事項について最新事情を含めて網羅されている。近年の日本近海における海洋に関する動向を考察する上で貴重な一冊となる。



電子機械工学科

書籍名: **IoTの知識地図—設計・実装・運用のための必須知識をこれ一冊で(技術評論社)**

紹介文: 現在さまざまな分野で IoT 技術との融合が進んでいます。それらの知識を複合的に捉える手助けになる本です。物事を俯瞰的に見る思考づくりにも役に立ちそうです。

情報工学科

書籍名: **暗号技術のすべて(翔泳社)**

紹介文: セキュリティ技術の要となっている暗号技術。本書では古典暗号から現代暗号までを体系的に非常に分かり易く解説しています。各暗号のアルゴリズムにも注目しており、アルゴリズム・計算量的観点からも各暗号技術の絡み合いを解き明かしています。ぜひ、本書を読んで暗号技術に詳しくなり、セキュリティ技術に強くなりましょう。



一般科目

書籍名: **万物の黎明:人類史を根本からくつがえす(光文社)**

紹介文: これまでの、人類の歴史に関する既成概念をくつがえす画期的な本。私たちが生きているこの世界はなぜこうなっているのか、別の有り様は考えられないのか？ 疑問や違和感がある人はぜひ読んでみてください。

図書館では、学生保護者をはじめ一般の方への貸し出しも行っていきます。詳しくは図書館カウンターまで